

### SH7206用E200Fエミュレータソフトウェア V.2.00 Release 00へのバージョンアップのお知らせ

SuperH RISC engineファミリ SH7200シリーズ SH7206グループ用エミュレータ E200F (R0E0200F1EMU00) のエミュレータソフトウェアを V.2.00 Release 00にバージョンアップしました。

#### 1. バージョンアップ対象製品

SuperH RISC engineファミリSH7200シリーズ SH7206グループ：  
E200F (R0E0200F1EMU00) 用エミュレータソフトウェア V.1.00 Release00 ~ V.1.02 Release 00

#### 2. バージョンアップ内容

##### 2.1 統合開発環境High-performance Embedded Workshop V.4 を同梱

統合開発環境 High-performance Embedded Workshop V.4 を同梱しました。また、SH7206用E200FエミュレータソフトウェアはHigh-performance Embedded Workshopのオートアップデート機能の対象になります。

オートアップデート機能の概要については、2005年3月1日発行のRENESAS TOOL NEWS "統合開発環境High-performance Embedded Workshop でのオートアップデート機能サポートのお知らせ" を参照してください。

##### 2.2 注意事項の改修

SuperH RISC engineファミリ SH7200シリーズ SH7206グループをデバッグする際の注意事項を改修しました。

問題の詳細は、2005年4月1日発行のRENESAS TOOL NEWS "SH-2A用E200Fおよび E10A-USBエミュレータ ご使用上のお願い"(資料番号 : RSO-E200F\_2-050401D) および、2005年6月16日発行のRENESAS TOOL NEWS "E200FおよびE10A-USB エミュレータソフトウェア ご使用上のお願い"(資料番号 : RSO-E200F\_2-050616D) を参照ください。

### 3. SH7206 をデバッグする際の制限事項

PCブレーク（ソフトウェアブレーク）を使用する場合は、PCブレーク設定前に SH2A\_SBSTKコマンドによりユーザystack使用を許可してください。許可しない場合、PCブレークによるブレーク発生時にR0レジスタの内容が正しくない値になる場合があります。

なお、ユーザystack使用を許可した場合は、許可しない場合よりブレーク発生時にユーザystackを4バイト多く使用します。スタックポインタの値(R15)をあらかじめ正しく設定してください。

初期値はユーザystack使用を許可しない設定になっていますので、以下の例のようにユーザystack使用を許可してください。SH2A\_SBSTKコマンドの詳細については、ヘルプファイルを参照してください。

設定例：

```
----->SH2A_SBSTK enable-----
```

### 4. バージョンアップ方法

オンラインバージョンアップ（無償）が可能です。次の手順でアップデートしてください。

- (1) 以下のダウンロードサイトからアップデートプログラム（ZIPファイル）をダウンロードしてください。  
日本語版  
英語版
- (2) ダウンロードしたZIPファイルを解凍して入手したインストールプログラム（setup.exeファイル）を実行してください。

### 5. 注意事項

本アップデートプログラムを実行すると、統合開発環境 High-performance Embedded Workshop V.4.00.01以前のバージョンがインストールされている場合は、V.4.00.02にバージョンアップされます。

#### [免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。